

令和4年度第4回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和5年2月16日

本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

2月6日にトルコとシリア国境付近において発生した大地震により、多数の死傷者が出るなど深刻な被害が発生しています。亡くなられた方々及びその御家族に心からの哀悼の意を表するとともに、被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

本市では、この状況を受け、地震救援金の受付を行うこととし、2月10日から市役所本庁舎、南庁舎及び各支局に募金箱を設置いたしました。

1日も早い復興を願うとともに、市民の皆様におかれましては、被災された方々への募金を通じた支援にお力添えをお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症についてであります。

第8波の感染拡大も収まりつつあり、5月8日から5類感染症に位置づけられることとなりました。

このことは、コロナ禍以前の日常生活を取り戻す大きな分岐点であると前向きに受け止めております。

引き続き、新型コロナウイルスを周囲に広げないなどの行動は必要となりますが、本市におきましても、市民の皆様が以前の生活を取り戻せ

るよう、これからの感染状況や国の動向を注視しながら取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、まず、本市の「令和5年度当初予算の概要について」ご説明申し上げます。

令和5年度は一般会計当初予算総額を前年度比1.7%増の254億8,042万円とし、私の目指す「ヒト・モノ・カネが流入するまち」の実現に向け、これまで取り組んでまいりました施策の成果をさらに深化、確実なものにしていくため、「移住・定住の推進」「稼げる地場産業の振興」「脱炭素社会の実現」の3つの柱で市政運営を展開してまいります。

1つ目の柱「移住・定住の推進」につきましては、テレワークやワーケーションなど新しい働き方を通じての移住促進への取組、また結婚・出産・子育てのそれぞれのライフステージに応じた支援、効率的かつ効果的な交通体系の構築、新見駅周辺まちづくり基本構想に基づく各種施策などにより、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

2つ目の柱「稼げる地場産業の振興」につきましては、農林業分野では、デジタル技術を活用した事業展開などに力を入れてまいります。またICOCAを活用した新しいプロジェクトで地域経済の活性化を目指してまいります。

3つ目の柱「脱炭素社会の実現」につきましては、カーボンニュートラルやSDGsを念頭に、将来の世代が安心して暮らせる、持続可能な

社会の実現に向け、全市的な取り組みを進めてまいります。

それでは、発表資料の項目ごとにご説明させていただきます。

はじめに「新見の魅力発信強化事業」についてであります。

さきほどご説明申し上げました、3つの柱に基づく各種施策を進めるにあたり、市民の皆様をはじめ、多くの皆様が知りたい情報と、皆様にお伝えしたい情報を確実に発信していかなければなりません。

そこで、本市への関心度を3層に分け、それぞれに向けた情報発信を強化してまいります。

具体的には、まず、本市を知らない「潜在層」向けには、「シティプロモーション事業」といたしまして、全国的に知名度のある有名人等を起用し、雑誌や動画を制作するなど、本市に注目を集め、観光誘客を促進いたします。

次に、本市に興味を持っている「関心層」向けには、「移住・関係人口増加に向けた情報発信事業」といたしまして、地方に興味関心のあるユーザーが多く登録している民間サイトを活用し、さらなる情報発信力の強化を図ります。

さらに、本市のことが大好きな「コアファン層」向けには、「新見ファンを増やす魅力向上事業」といたしまして、ファンの感じている魅力を明確にし、その魅力に特化した施策を実施してまいります。

これらの積極的な情報発信により、本市のイメージアップを図り、観光客などの交流人口、様々な関わりを持つ関係人口、そして移住・定住人口の増加を目指してまいります。

次に「地域情報配信システム整備事業」についてであります。

現在の告知放送機器による音声放送などに加え、4月から新たな情報伝達手段として、スマートフォンアプリによる情報配信サービスを開始いたします。市からの防災、行政情報がお持ちのスマートフォンに届き、リアルタイムで情報を知ることができるなど、利便性向上につながるものと考えております。

次に「地方創生テレワーク推進事業」についてであります。

サテライトオフィスの誘致に取り組むことで、転職なき移住、ワーケーションなどによる関係人口の増加を図り、地元での雇用と新たなビジネスの創出につなげ、若者の人口流出防止や移住者の増加を目指してまいります。令和5年度は誘致戦略の検討などを行ってまいります。

次に「地域子育て支援活動事業」についてであります。

就学前後の親子が広く交流し、地域ぐるみで子育て支援活動を行う団体に対し、その活動に要する費用を補助し、地域の子育て力、教育力の向上を支援してまいります。

次に「子育て環境の充実」であります。4月に哲多認定こども園を開園いたします。また、新見中央認定こども園に満3歳児クラスを新設し、新たに3歳になった子どもが、3歳児クラスの子どもと合同で教育・保育を受けられる環境を整えます。これにより、ゆとりある子育てができ、子どもが健やかに育つ環境の実現を図ってまいります。

次に「医療的ケア児等支援事業」についてであります。

人工呼吸器による呼吸管理等の医療的ケアが必要なお子様等を受け入れる障害児者支援事業所等に対して、受け入れ費用や、医療的ケアに必要な専用ベッドなどの購入費用を助成いたします。ご本人の社会参加や保護者の負担を軽減してまいります。

次に「鉄道利用促進事業」についてであります。

市民の皆様や地域にとって重要な公共交通機関である鉄道を維持していくため、新見市鉄道利用促進協議会を中心に、利用啓発活動や各種イベントを行い、JR利用者の増加を図ってまいります。

また「公募型鉄道利用促進事業」として、市民団体等から鉄道の利用促進につながる事業を募集し、成果が見込める取組を選定し、事業を展開するなど、これまで以上に利用促進に取り組んでまいります。

次に「高齢者等タクシー利用助成事業」についてであります。

運転免許証を所持していない75歳以上の方や、要介護者、障がいをお持ちの方が、通院や買い物などで利用するタクシー料金の助成を10月から試行的に実施いたします。1枚500円分の助成券を1カ月あたり6枚配布することで、経済的負担の軽減や外出機会の増加を図ってまいります。

次に「スマート農業推進事業」についてであります。

リモート操作のできる草刈機や空中散布用のドローンなどの購入費、ドローン操作に必要な資格取得費を補助してまいります。

デジタル技術を活用しながら、労力の軽減を図るとともに、新たな担い手の確保や継続的な営農を支援してまいります。

次に「遠隔わな監視システム等導入事業」についてであります。

イノシシやニホンザルなどの有害鳥獣捕獲における、わなの管理に係る負担を軽減し、狩猟者の担い手確保につなげるため、遠隔管理システムを設置した多頭数の捕獲が可能な囲いわなを導入し、効率的で効果的な捕獲に取り組んでまいります。

次に「畜産生産基盤拡大整備事業」についてであります。

まず「千屋牛生産基盤拡大事業」といたしまして、

事業着手から3年間で千屋牛の増頭を目指す畜産農家や法人を対象に、牛舎等の施設整備や草地刈取用機械等の機械整備費を補助し、千屋牛の増頭を支援してまいります。

次に「飼料生産基盤拡大事業」といたしまして、

粗飼料生産組織などを対象に、飼料生産基盤拡大に必要な収穫用機械整備や飼料の一時保管施設整備費を補助し、飼料作物の生産拡大により畜産経営の安定化を図ってまいります。

次に「森林情報デジタル化推進事業」についてであります。

森林情報システム基盤を構築、運用することにより、森林情報の集約などを行い、境界の明確化に向けた基盤整備を行ってまいります。

森林情報のデジタル化により、森林整備の推進、持続可能な林業の実現を進めてまいります。

次に「ICOCAを活用した地域活性化事業」についてであります。

地域経済をさらに好循環させるため、対象期間内に、市内で新見市オリジナルICOCAへ現金を1,000円以上チャージした場合、20%

のに一みんポイントを付与することといたします。最大10,000円のチャージで2,000円分の一みんポイントを付与いたします。

また、令和5年度中に転入・出生された方で、新見市オリジナルICOCAを申請された方に対して、に一みんポイントを3,000ポイント付与して配付いたします。

次に「公共交通キャッシュレス決済導入事業」についてであります。

市街地循環バス「ら・くるっと」にICOCAで決済できる端末を導入いたします。令和6年2月の利用開始を予定しており、準備が整い次第、皆様にお知らせしてまいります。

市内におけるキャッシュレス決済の推進と新見市オリジナルICOCAの利用促進を図るとともに、市民の皆様にとって、より身近で愛着のあるカードになることを目指してまいります。

次に「市民向け脱炭素促進事業の拡充」についてであります。

暮らしの中での脱炭素化を促進するため、自家用電気自動車の購入費を助成してまいります。

また、家庭での脱炭素化を促進するため、住宅用太陽光発電システム、住宅用蓄電池等、電気自動車用普通充電器の設置費を助成してまいります。

2050年脱炭素社会の実現に向けた様々な施策を積極的に展開してまいります。

次に「消防庁舎整備事業」についてであります。

昨年7月から着手しておりました、消防庁舎の基本・実施設計がこの

たび完了し、令和5年度から造成工事、庁舎及び附属施設建設工事を実施し、令和6年度中の完成を目指してまいります。

また、新たな防災拠点となる市役所本庁舎附属棟の建設工事も進めてまいります。これらの事業を着実に進め、防災力の強化を図ってまいります。

次に「コンビニ納付・スマートフォン決済の開始」についてであります。

4月から市税や上下水道料金などの公共料金については、コンビニ等での納付やスマートフォンでの決済ができるようになります。納税者等の利便性向上や行政事務の効率化を図ってまいります。

以上が令和5年度の主な事業となります。なお、今回の予算編成では、私の公約であります「ヒト・モノ・カネの流入するまち」を目指し、本市の魅力や各施策を着実に進めるとともに、効果的な情報発信に努め、にいみの「FAN」を増やしてまいりたいという思いを込め

ファンプラス

『にいみ 未来につなぐ FAN⁺ 予算』と命名しました。

その他、今議会では、条例26件、予算17件、その他7件を提案いたします。

令和4年度一般会計補正予算では「道路除排雪事業」の増額や、各種事業費などの確定等に伴い、総額7,202万円を増額しております。

私からは以上でございます。